

別紙様式 1

令和7年度スクールサポートスタッフ配置に係る事業計画書

学校名：奥州市立水沢南小学校

1 教員の時間外勤務の現状と縮減に向けた課題

- ① 働き方改革の重要性は認識しつつも、選択の集中のバランスが常にとれているとはいえない。
- ② 業務改善の要望は、各職員が提出しているが、そのための人的保障が困難である。
- ③ 職員規模が大きいために、学年会、会議や打ち合わせの共通理解のための資料作りに一定時間を割かれるため、個人の業務はそれ以降に時間を費やさなければならない。

2 働き方改革に向けて重点的に取り組む事項

- ① スクールサポートスタッフの活用により、生み出された時間を活用し、業務改善等の検討を行うとともに、働き方改革への職員の意識向上を図る。
- ② スクールサポートスタッフを活用し、文書の整理や印刷業務、備品整理や補充等を行うことで、職員間の業務サポート及び学校環境整備に努める。
- ③ 物理的に時間がかかる作業や時間短縮が見込められる作業や業務について重点的に取り組みことで、今年度以降の働き方改革にもつながるようにする。

3 スクールサポートスタッフの活用により期待される効果

- ① スクールサポートスタッフの配置による直接的な負担軽減だけではなく、見通しをもって業務の段取りを進める等、業務の計画的かつ円滑な執行が推進されること。
- ② 教職員同士が業務改善について本音で話し合える風通しの良い職場の雰囲気が醸成されるとともに、何を重点とすべきかという共通の認識がもてること。
- ③ 教職員がタイムマネジメントを意識しながら業務にあたることで、業務の効率化や質の向上が図られるとともに、ワーク・ライフ・バランスへの意識の高まりにより、教職員が健康で生き生きとやりがいをもって児童に向き合うことができるなど、教育活動の活性化につながること。

4 成果目標

教員の時間外勤務縮減目標

前年度比 10%以上削減 (R6月平均実績 : 40時間⇒R7月平均目標 : 37時間)
時間外勤務月80時間以上 : 0人

業務の抜本的見直しや業務改善による教員の負担軽減

業務改善に取り組んだ件数：10件以上

教職員のウェルビーイングの確保

年次休暇を取りやすいと感じている職員の割合：70%以上

5 教員の在校時間等の把握方法（該当するものに○してください）

- () ① タイムカード
() ② I Cカード
(○) ③ パソコン等の使用時間（ログインからログアウトまでの時間）の記録
() ④ その他（具体的に記載：

別紙様式 1

令和7年度スクールサポートスタッフ配置に係る事業計画書

学校名：奥州市立常盤小学校

1 教員の時間外勤務の現状と縮減に向けた課題

- ① 特別な支援や配慮が必要な児童が各学級に複数名在籍している。また、特別支援学級在籍の児童も約40名おり、児童が下校するまでは、安全面の配慮から休み時間も教室を離れることが難しい。そのため、学級事務や教材研究を放課後の勤務時間内で終えることが困難である。
- ② 組織的な学校運営をしていくために、学年・分掌での打合せや情報共有、共同作業が必要である。それらは、学級事務等より優先されるため、教職員個々の学級事務や教材づくりは勤務時間外になることが多い。

2 働き方改革に向けて重点的に取り組む事項

- ① スクールサポートスタッフをはじめ、学習支援員との協働的な働き方に努めること。
- ② スクールサポートスタッフができることを教職員に周知し、助け合う中で、お互い様という風通しのよい職員室、感謝を伝え合う職員室をつくること。

3 スクールサポートスタッフの活用により期待される効果

- ① 職員室の助け合いが日常になることで、教職員のコミュニケーションが活発になり、負担軽減だけでなく、協働的な働き方となり教育の質の向上につながる。
- ② 日常的な助け合いから業務改善の意識が高まり、労働安全衛生委員会等により、組織としての働き方改革につながる。
- ③ ワークライフバランスへの意識が高まり、退勤時間が早まることで、リフレッシュした常態で児童と向き合うことにより、教育の質が高まる。

4 成果目標

教員の時間外勤務縮減目標

- ① 前年度比10%以上削減（R6月平均実績：38時間/人⇒R7月平均目標：35時間/人）
- ② 時間外在校時間が月80時間以上の教職員数をゼロにする。

業務の抜本的見直しや業務改善による教員の負担軽減

- ① 小さな業務改善を一つでもつくること。
（小さな変化が効率化やミス削減につながる意識をもち継続的な改善を積み重ねる）

教職員のウェルビーイングの確保

- ① 自分の家族のための時間、また自分自身自由な時間を確保できていると感じる教員の割合を50%以上にする。

5 教員の在校時間等の把握方法（該当するものに○してください）

- () ① タイムカード
() ② ICカード
() ③ パソコン等の使用時間（ログインからログアウトまでの時間）の記録
(○) ④ その他（具体的に記載：勤務時間外記録簿への入力）

別紙様式 1

令和7年度スクールサポートスタッフ配置に係る事業計画書

学校名： 奥州市立水沢南中学校

1 教員の時間外勤務の現状と縮減に向けた課題

- ① 職員は働き方改革への取組の重要性は認識しているが、生徒のためにという思いで、遅くまで仕事をする場合が多く、働き方改革に関する意識を十分に浸透させる。
- ② 職場でペーパーレスや業務のＩＣＴ化等で働き方改革に取り組んで一定の効果がみられるものの、さらに業務改善を図る必要がある。

2 働き方改革に向けて重点的に取り組む事項

- ① スクールサポートスタッフの活用により、生み出した時間を活用して業務の見直しに関する会議等を行い、共通認識を持って業務改善に取り組む。
- ② スクールサポートスタッフを活用し、職員の書類の整理や印刷業務等の軽減を図り、職員の他業務の効率を高める環境づくりを進める。
- ③ 保護者が集まる機会に、スクールサポートスタッフの配置や学校における働き方改革に向けた取組を説明し、理解醸成を図る。

3 スクールサポートスタッフの活用により期待される効果

- ① スクールサポートスタッフの配置による直接的な負担軽減だけではなく、見通しをもって業務の段取りを進めるなど、業務の計画的かつ円滑な執行が推進されること。
- ② 教職員同士が業務改善について本音で話し合え職場の雰囲気が醸成されるとともに、働き方改革への意識の向上がさらに図られること。
- ③ 教職員がタイムマネジメントを意識しながら業務にあたることで、業務の効率化や質の向上が図られるとともに、ワーク・ライフ・バランスへの意識の高まりにより、教職員が健康で生き生きとやりがいをもって生徒に向き合うことができるなど、教育活動の充実につながること。

4 成果目標

教員の時間外勤務縮減目標

- ① 前年度比 10 %以上削減 (R6月平均実績 : 25 時間⇒R7月平均目標 : 22 時間)
② 時間外勤務月80時間以上の教職員数 ⇒ 0人

業務の抜本的見直しや業務改善による教員の負担軽減

業務改善に取り組んだ件数： 5 件以上

教職員のウェルビーイングの確保

自分の家族のための時間又は自分自身の自由な時間を確保できていると感じている
教員の割合： 55%以上

5 教員の在校時間等の把握方法（該当するものに○してください）

- () ① タイムカード
() ② I C カード
(○) ③ パソコン等の使用時間（ログインからログアウトまでの時間）の記録
() ④ その他（具体的に記載： ）

別紙様式 1

令和 7 年度スクールサポートスタッフ配置に係る事業計画書

学校名：奥州市立江刺第一中学校

1 教員の時間外勤務の現状と縮減に向けた課題

- ① 主任層以上では月間80時間を超えるものが2名程度。そして、45時間を超える者が1/3程度いる。
- ② 主任層以上の中には、職員の負担を減らそうと遅くまで仕事をする職員がおり、働き方改革の重要性を理解しつつも、一部職員に負担がかかりすぎている。
- ③ 生徒数が多いため、一つ一つの業務にかかる事務的な作業に時間が費やされる。
- ④ 地域に一つの中学校となり外部からの依頼が多く煩雑である。

2 働き方改革に向けて重点的に取り組む事項

- ① スクールサポートスタッフの活用により、印刷業務、来客対応など事務的な作業を縮減し、そこで生み出された時間を各自の業務時間にあてる。
- ② 学校開放、地域行事など地域との連携の仕方を見直し、マニュアル化を図る。

3 スクールサポートスタッフの活用により期待される効果

- ① スクールサポートスタッフの配置により主任層以上の印刷などの軽微な作業が縮減され、業務時間を確保できる。
- ② スクールサポートスタッフの配置の意義を伝え、業務改善の意識を醸成し、今後の働き方改革につなげ、健康管理意識の向上につなげることができる。

4 成果目標

教員の時間外勤務縮減目標

- ① 前年度比 5 %以上削減（R6月平均実績：40 時間⇒R7月平均目標：38 時間）

業務の抜本的見直しや業務改善による教員の負担軽減

業務改善に取り組むことの明確化

- ・ プリント削減（マチコミによる学級連絡、会議連絡の推進）
- ・ 学校開放の集約作業
- ・ 会議資料ペーパーレスの効率化

教職員のウェルビーイングの確保

自分の家族のための時間又は自分自身の自由な時間を確保できていると感じている職員の割合 65 %以上

5 教員の在校時間等の把握方法（該当するものに○してください）

- () ① タイムカード
() ② ICカード
() ③ パソコン等の使用時間（ログインからログアウトまでの時間）の記録
(○) ④ その他（具体的に記載： パソコンソフトを使って記録)